

# 合成動画の作り方

こんにちは、松下です。

今回は、合成動画の作り方について解説していきます。

この動画を見ることであなたは、合成動画の作り方がわかるようになり、クオリティの高い動画を作ることができるようになります。

クオリティの高い動画を作ることができれば、アクセスアップにつながることもできるようになるので、最後までしっかりとご視聴ください。

それでは、張り切って参りましょう！

まずは、こちらをご覧ください。

こちら動画は背景が鮮やかで、非常にクオリティの高い仕上がりになっていますが、実はこの動画は合成動画になります。

元の動画はこんな感じになりますが、非常に地味ですよね。

このように、合成のテクニックを使うことで、地味だった動画を非常に鮮やかでクオリティの高い動画へと仕上げるができるようになります。

ではこれから、合成動画の具体的な作り方について解説していきます。

合成動画を作るには、次のものを用意してください。

- 1、ビデオカメラ
- 2、照明
- 3、グリーンおよびブルーのバックスクリーン
- 4、背景画像
- 5、グリーンまたはブルーの画像

以上の5点になります。

1の「ビデオカメラ」と2の「照明」については、セットアップ編で詳しく解説していますので、そちらをご覧ください。

3の「グリーンおよびブルーのバックスクリーン」ですが、こちらはアマゾンなどで「撮影 バックスクリーン」などで検索をかけると、スタンドとセットで3,000円から4,000円程度で購入することができます。

4の背景画像ですが、自分で撮るのもいいですが、Googleの画像検索でダウンロードすることもできます。

今回は、Google検索で「窓 背景」と画像検索をかけます。

すると、いい感じの画像があったので、こちらを使用します。

画像をクリックし、右クリックで「名前を付けて画像を保存」を選択すると、画像を保存することができます。

5の「グリーンおよびブルーの画像」ですが、こちらは編集の時に、動画内のグリーンおよびブルーの背景が足りない場合に追加する画像になりますが、後ほど詳しく解説します。

必要なものを用意することができたら、まずは動画を撮影します。

動画を撮影したら、この動画から5の「グリーンおよびブルーの画像」を作成します。

作成手順は、MacとWindowsとでは若干異なりますので、これから一つ一つ解説していきます。

まずはMacですが、撮影した動画を開き動画を一時停止します。

そして、その状態でシフトキーとコマンドキーと数字の3キーを同時に押します。

すると、動画をデスクトップに画像として保存することができるので、保存した画像を開いて、被写体の右の青い部分を切り抜きま

す。

切り抜き方は、画像の切り抜きたい部分の範囲を選択し、上メニューの「アークマップツールの表示」というアイコンをクリックすると、下にメニューが表示されるので、この中から「選択範囲に切り取り」をクリックします。

すると、青い背景部分のみを切り取ることができます。

切り取り終わったら一旦閉じて、ファイル名を適当に変更し、フォルダに保存し完成です。

次にWindowsの手順ですが、まずは撮影した動画を開き一時停止します。

そして、プリントスクリーンキーを押します。

次に、左下の検索窓に「ペイント」と入力しペイントを開き、コントロールキーとVキーを同時に押します。

すると、先程プリントスクリーンした画像を貼り付けることができるので、この状態で、被写体の右の青い部分を切り抜きます。

切り抜き方は、まずは上メニューの「選択」をクリックし「全てを選択」をクリックします。

すると、マウスの形が十字に変化するので、この状態で画像をクリックしながら左へ移動します。

被写体が隠れたあたりでストップし、次に右の白い部分を一度クリックします。

すると、白い部分の右側に小さい点が表示されるので、この点をクリックしながら、左へ移動すると、こんな感じでバックの青い部分を切り取ることができます。

最後に下の部分も同じように、小さい点をクリックしながら上へ移動し、余計な部分を削除します。

これで完成です。

次に、動画と背景画像を合成する作業になりますが、合成作業は「フィモーラ」という編集ソフトを使います。

まずは、フィモーラを立ち上げて、合成する動画と先程作成した「ブルー画像」を取り込みます。

そして、動画をフレームに差し込み、その上にブルー画像も差し込み、右上のゲージでフレームを縮小してから長さを揃えます。

そして、上画面のブルー画像をクリックすると、移動することがで

きるようになるので、ブルー画像を左側へ移動し、バックスクリーンが開いてしまった部分を埋めるようにかぶせます。

次に、再度ブルー画像をフレームに差し込み、同じように長さを揃え、上画面でクリックしてから今度は右側の空いた部分にかぶせます。

そして、上にある「エクスポート」をクリックし、一旦動画を書き出します。

書き出し方は、まずは右メニューの「mp4」を選択し、上からファイル名を入力、保存先を選択し、解像度は1920×1080を選択し、「エクスポート」をクリックします。

すると、この動画が書き出されます。

動画が書き出されたら、上メニューの「ファイル」をクリックし、フィモーラを保存します。

そして、先程差し込んだデータを全て削除し、今度は先ほど書き出した動画と合成する背景画面を取り込みます。

そして、まずは背景画面をフレームに差し込み、その上に動画を差し込み、フレーム内の動画をクリックします。

すると、左上にメニューが表示されるので、この下のほうの「クロマキー」という項目にチェックを入れます。

そして、「カラー選択」の項目をクリックするとパレットが表示されるので、バックスクリーンのカラーを選択します。

今回はブルーなので、ブルーを選択します。

すると、右上の画面のブルーバックが透けて、動画と背景画像を合成させることができます。

あとは、「許容差」などを微調整し「OK」をクリックし、「エクスポート」で書き出せば完了です。

こんな感じですね。

以上が、合成動画の作り方についての解説でしたが、いかがだったでしょうか？

合成テクニックを使うことで、あなたの動画はさらにクオリティを高めることができ、アクセスアップへとつなげることもできるようになるので、ぜひ、参考にしてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。